

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025 年)9月26日
所 属 名:大津・南部農産普及課
番 号:A25009
発 信 者 名:橋本、木村



イチゴ新規就農者への栽培支援で高収量を達成！

認定新規就農者のN氏は、令和6年度から本ほ1,200㎡でイチゴ栽培を始め、1作目で約8.6tの高収量をあげました。

N氏は県外出身で、令和6年3月に農業大学校養成科を卒業されました。卒業後は認定新規就農者として野洲市においてパイプハウス1,200㎡で高設イチゴ栽培に取り組まれています。

令和6年度の育苗期間は高温が続いたため苗数の確保に苦慮されましたが、生育状況に応じてかん水や施肥を指導することで目標苗数を確保されました。

本ほでは栽培管理に環境計測機器を取り入れ、ハウス内の温湿度やCO₂濃度を計測し、栽培に最適な環境に近づけるよう支援しました。また、花芽分化時期や植物体の栄養状態を確認しながら、「みおしずく」等の品種ごとの特性に合わせた養液管理ができるよう技術習得を指導しました。

その結果、目標としていた12月上旬から収穫が開始でき、7月上旬まで長期間にわたり出荷を続け、就農計画の目標収量の2.4倍にあたる約8.6t/1,200㎡の収量をあげられました。

栽培終了後に令和6年度の管理について当課とともに振り返り、苗質の向上、収穫の中休み等の課題を共有し、改善策について検討しました。令和7年度は、9.6t/1,200㎡とさらに高収量を目指して技術改善を図り、現在は定植作業を進めておられます。当課では、引き続き高収量を確保できるよう、支援を続けていきます。



N氏の育苗管理指導を行う